



奨励賞



設計部門

豊四季台団地(建替) 第Ⅳ期エリアのランドスケープデザイン

株式会社総合設計研究所

志村勝・石井ちはる・武田栄文・前川和美
独立行政法人都市再生機構
有本幸代・佐藤浩幸・大崎貴弘・稻葉慈
山・集研設計共同体
照沼博志・佐藤文照・山本慶三・平田智隆

豊四季台団地は、団地再生事業において「環境共生の魅える化ECOプロジェクト」を重点テーマに置いた建替を進めてきました。第Ⅳ期エリアでは、広域的な水と緑のネットワークに貢献する豊かな緑環境と雨水涵養のシステムの実現に重点を置いて、団地内外と連続する環境と既存樹木の保全、野馬土手等の地域特性を生かした空間構成などをを目指しました。また、団地全体の歩行動線の導入部にあたることから、建替エリアを印象付ける象徴的な空間デザインとし、動線と一体的な開かれた空間と共に建築との中間領域を充実させ、居住者の暮らし方が表れるアウトドアリビングとしての屋外環境づくりを行いました。

作品概要

作品名—— 豊四季台団地(建替)第Ⅳ期エリアのランドスケープデザイン
所在地—— 千葉県柏市豊四季台二丁目
発注—— 独立行政法都市再生機構 東日本賃貸住宅本部
設計—— 株式会社総合設計研究所、独立行政法人都市再生機構、山・集研設計共同体
設計協力—— 氏デザイン株式会社(サンイン計画)、三戸久美子(樹木医)、株式会社清水達也ランドスケープ(基本計画)
監理—— 株式会社URリンクケージ
施工—— 株式会社東松園、株式会社奥村組、株式会社長谷工コーポレーション
設計期間—— 2018年9月～2022年2月
施工期間—— 2020年12月～2022年3月
規模—— 敷地面積 約18,400m²
主要施設—— S字通り、中庭空間、まちかど広場、ランドマークツリー、コミュニティデッキとファニチャー、四季のみち、保存緑地休憩施設、ECOプロジェクトサイン、豊四季台カラーアイテム、築山 他

作品評

本作品は、昭和30年代に建設され40年以上が経過する大規模団地を段階的に建替えている豊四季台団地第Ⅳ期エリアのランドスケープデザインの取組である。この団地再生では、「環境共生の魅える化ECOプロジェクト」をテーマとし、広域的な自然環境とネットワークする屋外環境の保全及びECOな暮らしを誘導するハード・ソフト両面に取り組んでおり、産官学連携事業の高齢者対策や子育て施設との連携など、様々な活動が団地内で展開されている。

第Ⅳ期エリアでは、ECOプロジェクトのデザインとして、地形の記憶である野馬土手や保存木を中心に、特徴ある印象的な景観と環境共生に配慮した中庭空間を創出している。また、住棟と屋外のシームレスなデザインなどにより、自由度が高い遊び場や憩いの場など、コロナ禍での屋外を利用した多様な暮らし方が表れるアウトドアリビングを具現化している。惜しまれる点は整備から間もない応募であり、屋外環境での居住者の過ごし方や様々な活動の醸成が望まれることから、団地再生の今後の展開を期待して奨励賞と評価された。